

「鹿児島情報高校の玉利の鎌手踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	学校法人原田学園 鹿児島情報高等学校
2. 学年・人数	1・2・3年（15名）
3. 日時・場所	（1）練習の日時・場所 令和6年5月～1月 毎週水曜日5・6時間目 鹿児島情報高校剣道場 （2）発表の日時・場所 令和6年 7月10日 ガーデンハウス慈遊館 令和6年11月25日 鹿児島市立和田小学校
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	（1）名称 鹿児島市指定郷土芸能 玉利の鎌手踊り（たまりのかまんでおどり） （2）由来 今から約240年前に、豊作祈願と無病息災を祈念し伝承されてきた。 （3）構成等 「鎌」6人と「棒」6人で踊り手は構成される。歌い手の歌に合わせて、鎌と棒で激しく打ち合う。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	学校と地域が連携協力しながら玉利の鎌手踊りを継承していくために、授業中に継承活動と発表を行っている。 放課後ではなく授業中に活動することで、部活動生も所属が可能となり、人数を確保しやすい。教員の勤務時間内に活動するため、働き方改革にも繋がる。 また先輩が後輩を指導することで、学校内の指導者が転勤や異動になっても持続可能な継承活動の体制を整えた。
6. 取組の様子 （練習状況、発 表の場等）	 地域の小学校で披露  地域の老人ホームで披露
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	【生徒】 ・踊りに込められた思いを自分たちでも引き継ぐことができた ・郷土芸能が途絶えるのは良くないので、少しでも周りや次の世代に繋げていこうという心が芽生えた ・老人ホームで踊って、人に喜んでもらえるのは嬉しいことだと思った。